



# **MCCatalog+ Maker**

## **講習テキスト**

## ■ MCCatalog+Maker 操作編 目次

---

MCCatalog+ Maker のインストール	3
PDF データのインポート	4
テキストフレームの結合	8
テキストの編集	13
リンクを指定する (ページジャンプ・URL リンク)	15
スライドショーで画像を表示する	18
フレームのマスク設定	20
読み上げ辞書の設定	22
書誌情報の登録と自動翻訳の実行	23
URL リンク変換	26
ファイルのエクスポート	29

## MCCatalog+ Maker のインストール

CMS へログインし、MCCatalog+ Maker をインストールします。

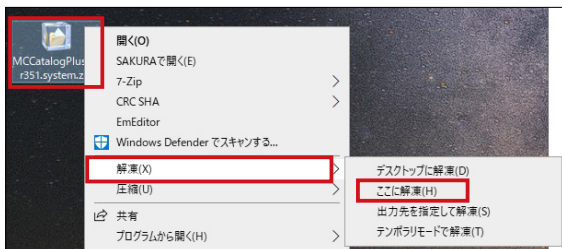
1. 所定の URL へアクセスし、お客様専用の ID とパスワードで CMS へログインします。



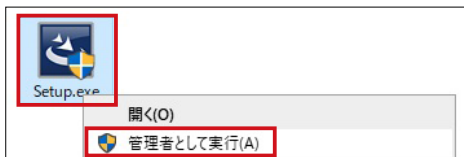
2. [Maker] から [ダウンロード] をクリックし、インストーラの圧縮ファイルを分かりやすい所にダウンロードします。



3. ダウンロードした [MCCatalogPlus.Ver xx.system.zip] を解凍します。



4. 解凍したフォルダ内から [Maker] - [Setup.exe] を右クリックし [管理者として実行] を選択してインストールします。



### POINT

CMS へのアクセスに使用するブラウザは Google Chrome を推奨しております。  
 なお、CMS の URL、ID、パスワードはライセンス証明書に記載しています。

### POINT

MCCatalog+ Maker はマルチライセンス化しているため、1 契約で PC3 台までご利用いただけます。

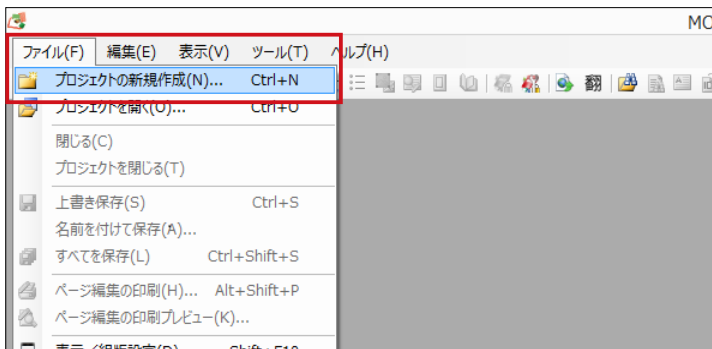
### POINT

インストールの手順は、解凍したフォルダ内の「3. インストール手順.pdf」をご参照ください。

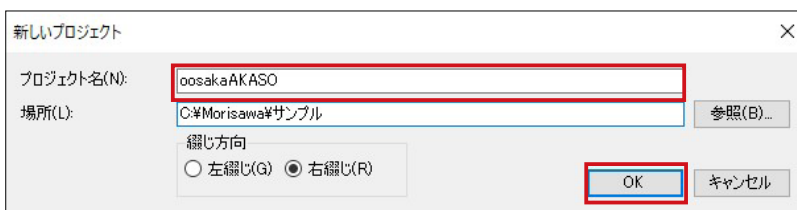
## PDF データのインポート

PDF データのインポート作業を行い、テキストポップアップ用のデータを作成します。

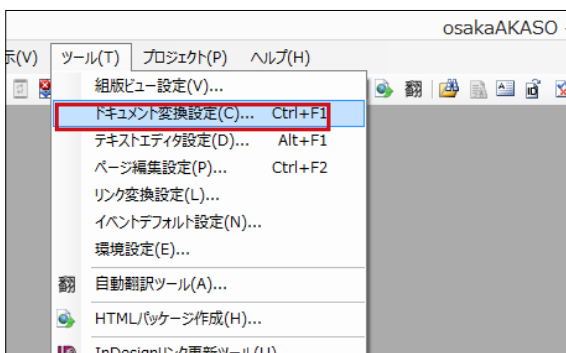
1. [ファイル] - [プロジェクトの新規作成] をクリックします。



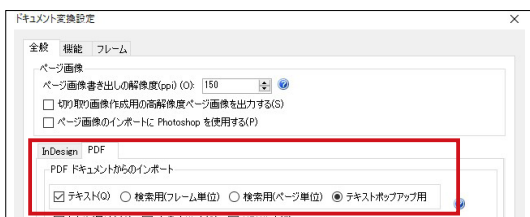
2. [プロジェクト名] を入力し、[場所] - [参照] から保存場所を設定し、[縦じ方向] を選択して [OK] をクリックします。



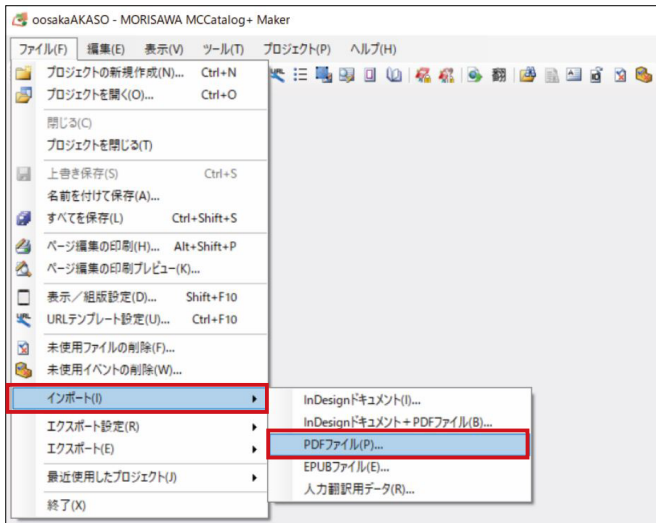
3. [ツール] - [ドキュメント変換設定] を選択します。



4. [PDF ドキュメントからのインポート] - [テキスト] - [テキストポップアップ用] にチェックが入っていることを確認します。



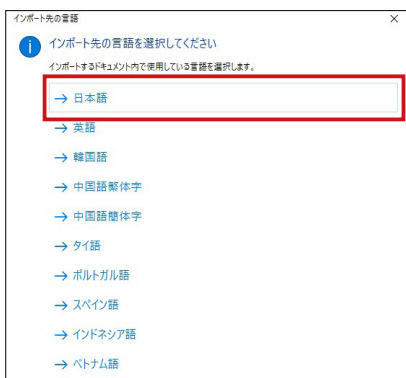
5. [ファイル] - [インポート] - [PDF ファイル] を選択し、該当の PDF データを選択します。なお、プロジェクトの作成後は、グレーのエリアに PDF データをドラッグアンドドロップすることでもインポート可能です。



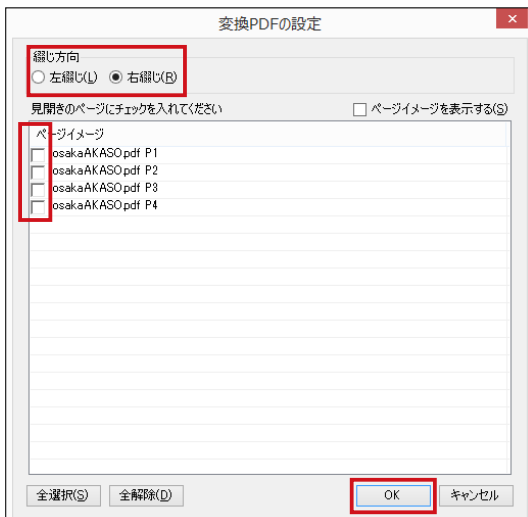
POINT

本項は PDF データのインポートで作業しておりますが、InDesign データをインポートすることも可能です。PDF データ以外のインポートについては、[ヘルプ] - [マニュアル] より MCCatalog+ Maker 操作ガイドをご確認ください。

6. [インポート先の言語] - [日本語] を選択してインポート作業を続行します。



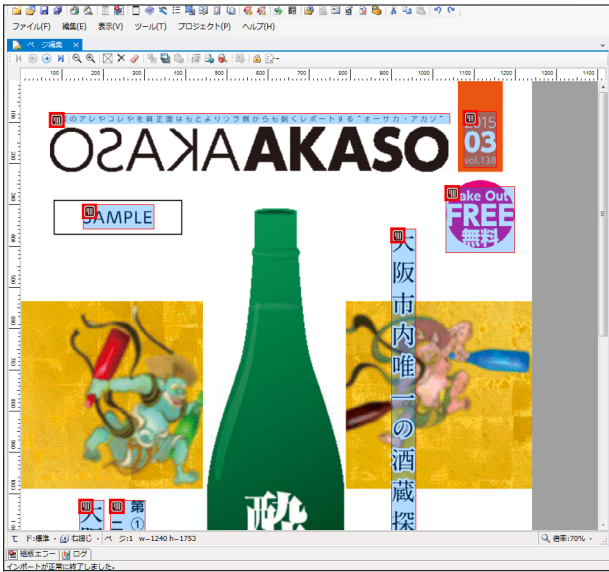
7. [変換 PDF の設定] - [綴じ方向] を設定し、見開きページのチェックを確認して [OK] をクリックしてください。(本テキストではチェックを外して作業します)



POINT

PDF 上で左右ページが結合しているページは見開きページのチェックを入れてください。

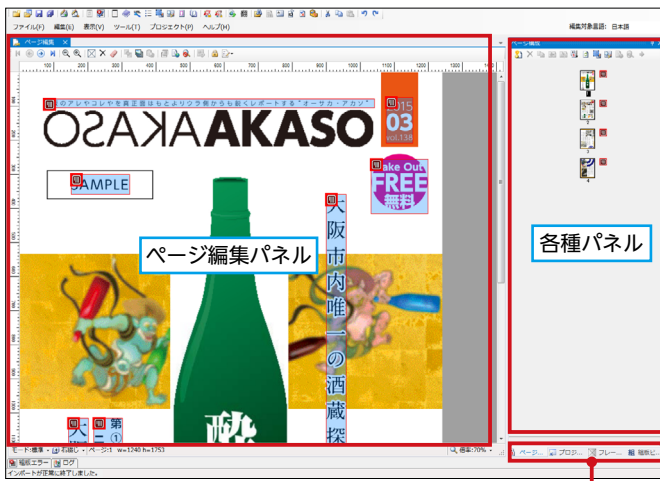
8. PDF データがインポートされ、赤色枠のテキストフレームが生成されていることを確認します。



**POINT**  
 インポートを繰り返した場合は前回取り込んだデータが上書きされるのではなく、ページが追加されます。

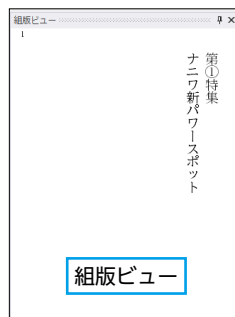
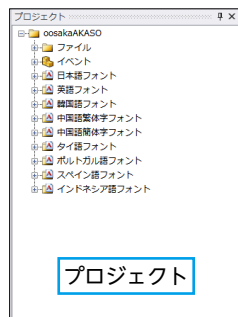
■ 画面構成例 ■

画面はフレームなどを編集するページ編集パネルや結果を表示する組版ビューパネルなどから構成されます。

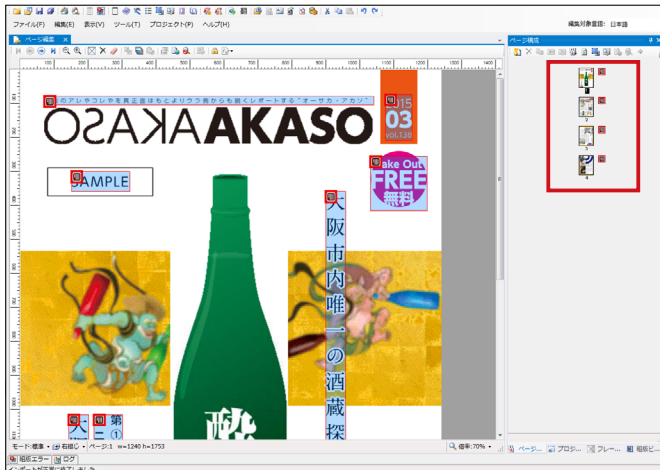


各種パネルを切り替えて表示します

各種パネルの例



9. ページ構成パネルで 2 ページ目を選択し、4 ページ目のあとに移動します。ページの順番が入れ替わります。



MEMO

ページ編集パネルでページ送りや画面の拡大縮小などが行えます。



POINT

ページの送りや戻しを行う際は Page Up キーや Page Down キーでも可能です。

また、MCCatalog+ Maker では以下のショートカットキーをご利用いただけます。

- ・画面の拡大縮小  
Ctrl キー + マウスホイール
- ・左右移動  
Shift キー + マウスホイール
- ・元に戻す  
Ctrl キー + Z キー

## テキストフレームの結合

インポートした PDF データからテキストを自動的に認識し各フレーム単位でインポートされます。そのため、テキストフレーム同士を結合して、文章をつなげる作業が必要となります。

### ■ 注 意 ■

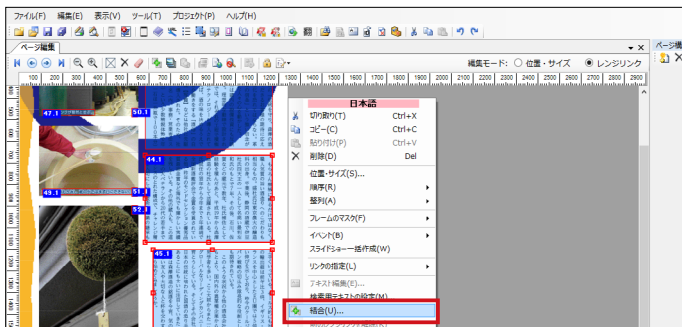
連結をしていないテキストフレームは意図しない位置にテキストの区切りが入ることになり、自動翻訳の結果が適切にならない可能性があります。本項「テキストフレームの結合」を参考に作業していただき、適切な文章になるように作業を行うことをおすすめいたします。

### ▶ POINT

PDF の場合、意図しない状態でフレームが細分化、または結合される場合があります。その場合は結合やフレームの新規作成が必要です。  
細分化が予想される場合はインポート前に [ツール] - [ドキュメント変換設定] - [フレーム] - [PDF] - [テキストフレームの結合行間隔を変更する] で適宜設定を変更することが可能です。

### テキストフレームを一つに合成して結合する

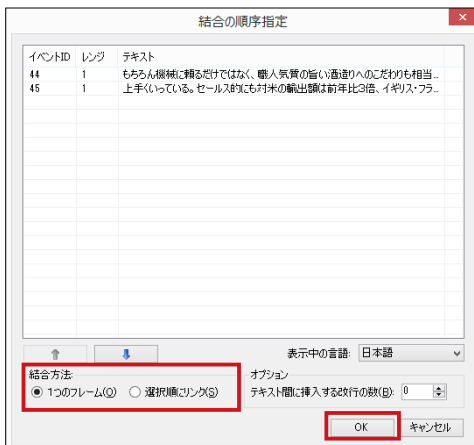
1. 該当ページ（本項では 3 ページ目）を表示し、結合したいフレームを順番に Shift+ クリックで選択し、右クリックメニューから [結合] を選択します。



### ▶ POINT

結合したいフレームがすべて含まれるようにマウスドラッグで範囲選択し、右クリックメニューから [結合] を選択することも可能です。

2. [結合の順序指定] でテキストの順番を確認し、[結合方法] - [1つのフレーム] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

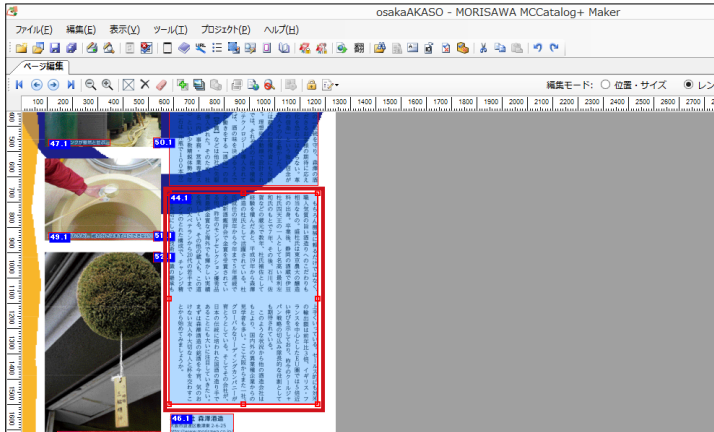


### ▶ POINT

一度合成したテキストフレームを元の状態に分割し直す機能はありません。Ctrl+Z で戻ることもできないため、元の状態に戻すには新規作成したフレームを配置して、テキスト編集画面にて文章を移動してください。



3. テキストフレームが一つに合成されていることが確認できます。

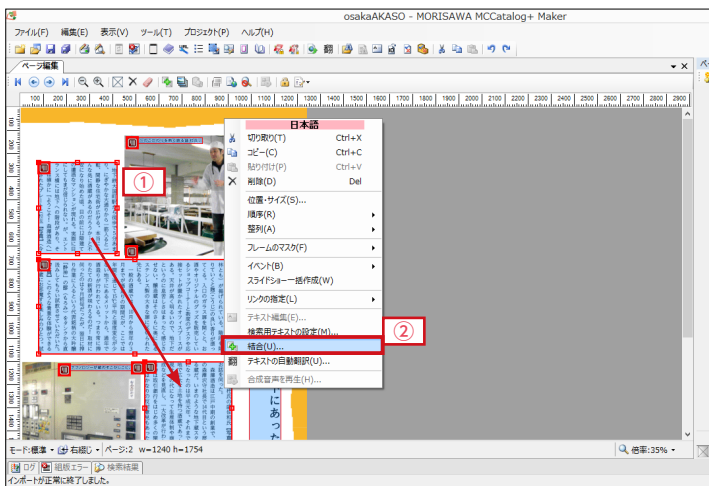


▶ POINT

短い文章で多くのフレームが出来た場合、読者がフレームをタップして読む際に、その都度タップと閉じる動作を繰り返す必要があります。操作性を向上させるため、これらのフレームを合成して1つにする場合に設定してください。

フレームの形状、サイズを保持したまま結合する

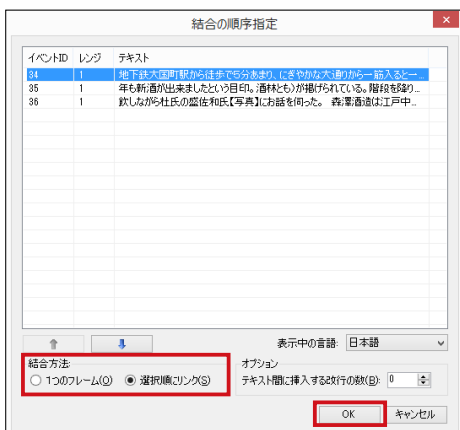
1. 該当ページ（本項では2ページ目）を表示し、結合するフレームを順番に範囲選択もしくは Shift+ クリックで選択し、右クリックメニューから【結合】を選択します。



▶ POINT

選択した順にテキストが結合されます。

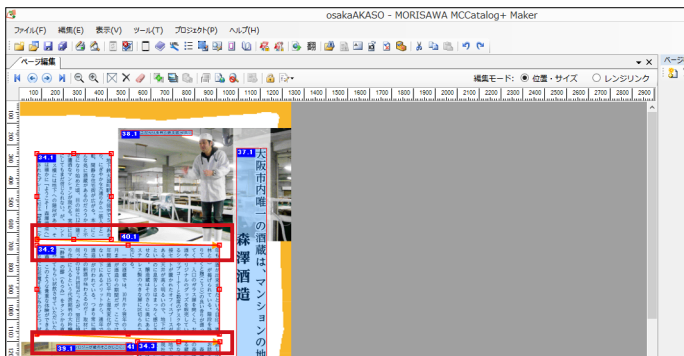
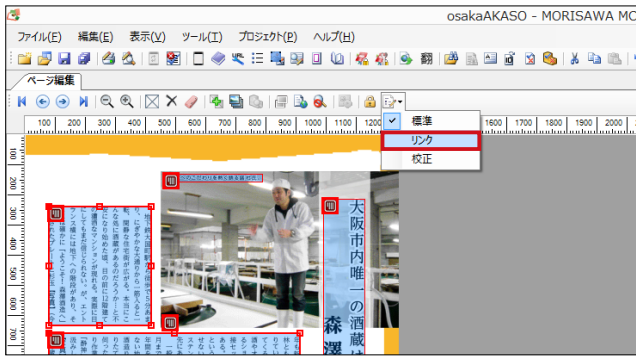
2. 【結合の順序指定】でテキストの順番を確認し、【結合方法】 - 【選択順にリンク】にチェックを入れて【OK】をクリックします。



▶ POINT

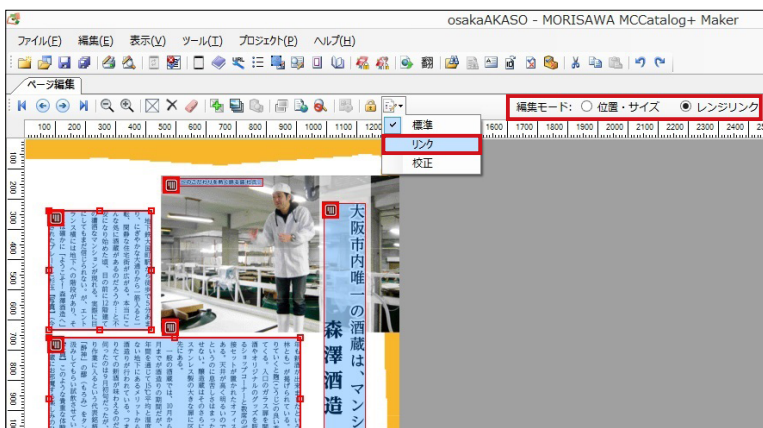
この画面でテキストの連結順を変更することも可能です。

3. [ページ編集] メニュー - [表示モードの変更] - [リンク] を選択すると表示が変更され、フレームが結合されたことが確認できます。

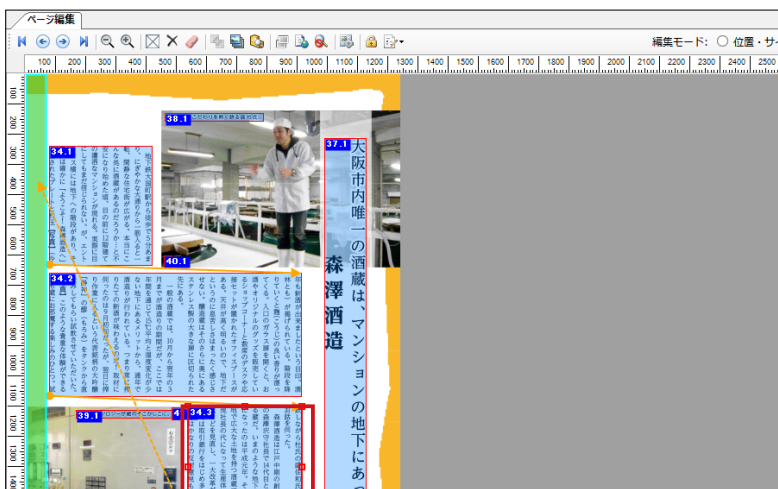


## レンジリンク（フレーム間やページをまたぐテキスト連結）

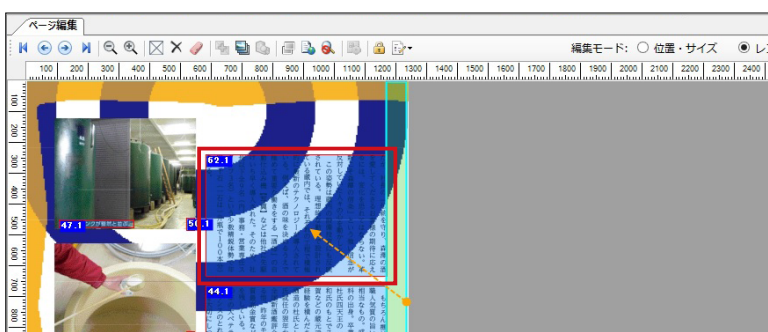
1. [表示モードの変更] - [リンク] 表示されていることを確認し、[編集モード] - [レンジリンク] を選択します。



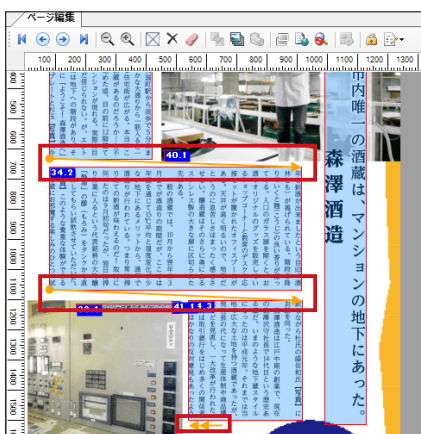
- 最初のテキストフレームをマウスでドラッグしたまま、ドキュメントの端にある緑色の領域にマウスカーソルを1秒程度重ねておきます。



- 次ページに画面が遷移しますので、ドラッグしたまま次のテキストフレームにカーソルを合わせます。



- 連結されると連結マークが表示され、イベント番号が連番となりページをまたいだ連結ができます。



### ▶ POINT

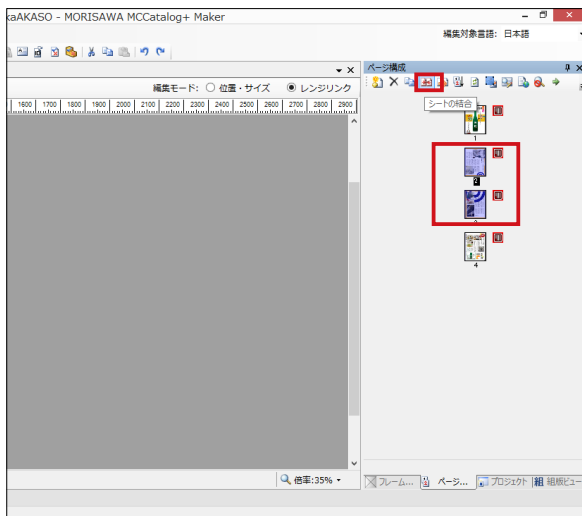
表示モードが「レンジリンク」の状態では、フレームの位置調整を行うことはできません。必要に応じて、「表示モード」を切り替えて操作してください。

### ■ MEMO ■

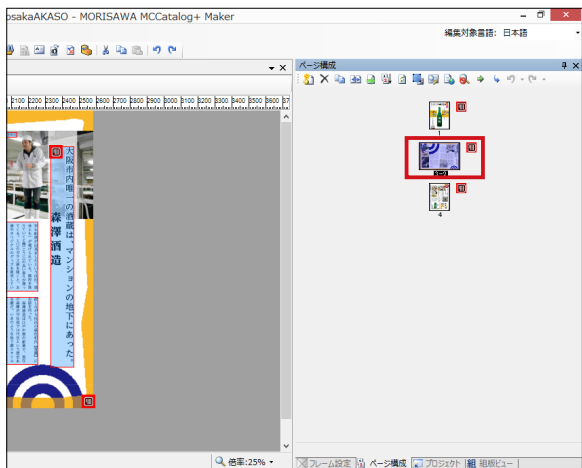
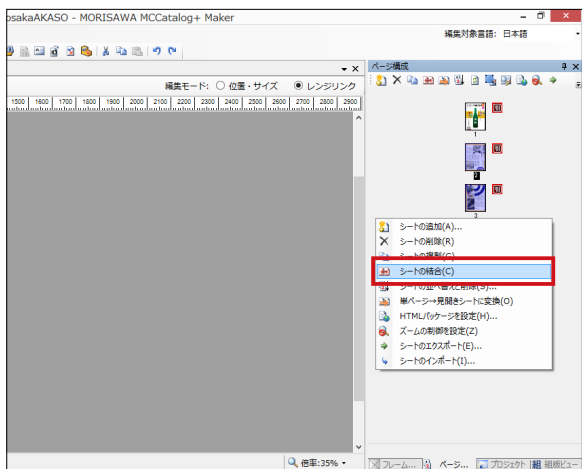
フレーム同士の連結を解除する場合は、編集モードが「レンジリンク」の状態では、フレームの位置調整を行うことはできません。必要に応じて、「表示モード」を切り替えて操作してください。

## 左右ページのシートを結合する

1. [ページ構成] パネルを表示して、結合したいシートを Shift+ クリックで複数選択します。



2. 右クリックメニューから [シートの結合] ボタンをクリックするとシートが結合されます。



### ▶ POINT

[シートの結合] を行ったページは、読者が端末を縦置きにした時は片ページずつ、横置きにした時は左右ページが見開きで表示されるようになります。

### ▶ POINT

[シートの結合] を行ったページを選択し [シートの分割] を行うと元の状態に戻せます。

## テキストの編集

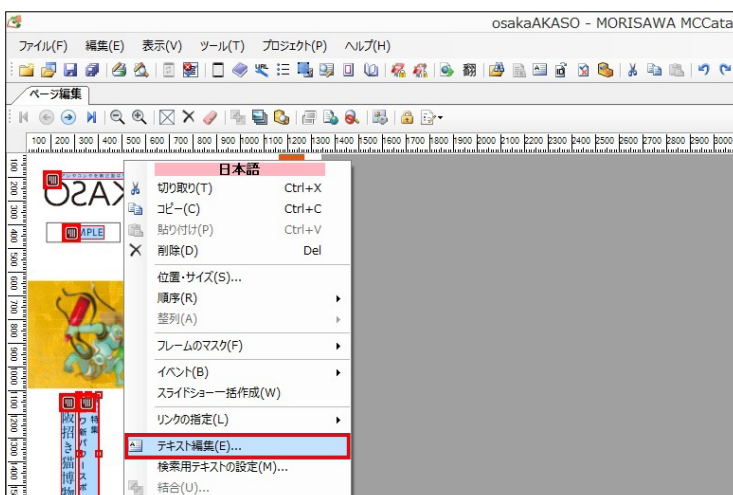
文字を追加するなど、編集を行うことができます。また、文字の大きさを変更したり文字色を変更するなどの修飾が可能です。

### POINT

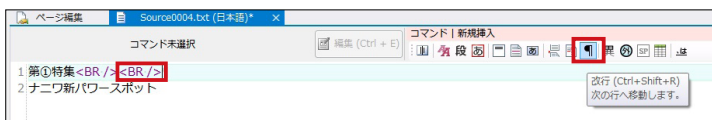
ここでのテキスト編集作業は、ポップアップテキストで表示される文字に反映されます。

### 改行コマンドの挿入

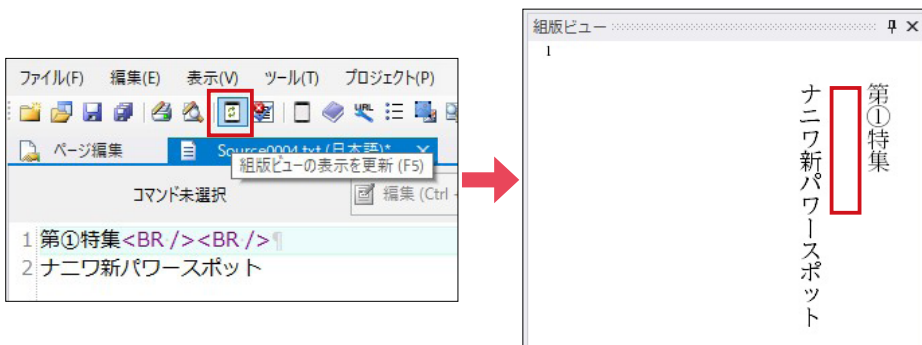
1. 編集したいテキストフレームを選択し、右クリックメニューから「テキスト編集」を選択します。



2. 改行したい箇所にカーソルを置き、右上コマンドメニューから「改行」コマンドを選択します。

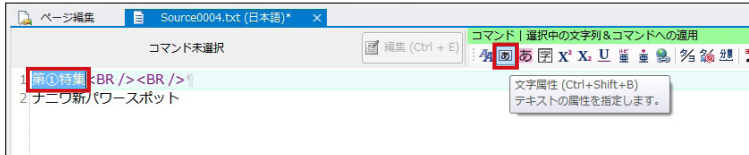


3. 【F5】キーまたは「組版ビューの表示を更新」ボタンを押下して、組版ビューを確認します。

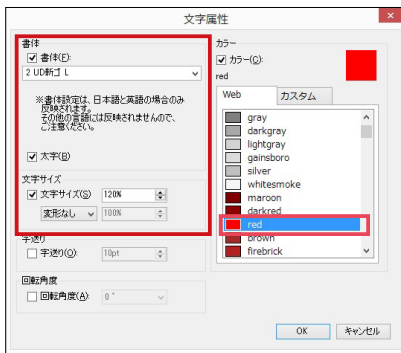


## 文字修飾機能

1. 編集したいテキストフレームを選択し、右クリックメニューから「テキストの編集」を選択します。
2. テキストエディタのメニューが表示され、変更したい文字列を範囲選択し、右上コマンドメニューから「文字属性」コマンドを選択します。



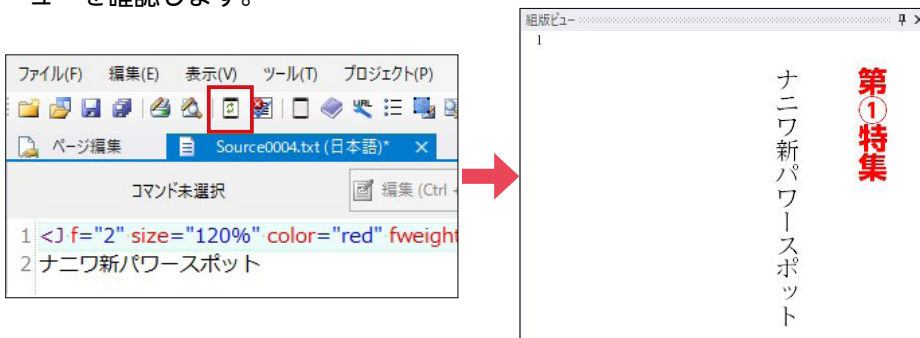
3. 書体や文字サイズ、カラーなどを指定し、設定完了後に「OK」をクリックします。



文字属性コマンドが挿入されます。



4. 【F5】キーまたは「組版ビューの表示を更新」ボタンを押下して、組版ビューを確認します。



**POINT**

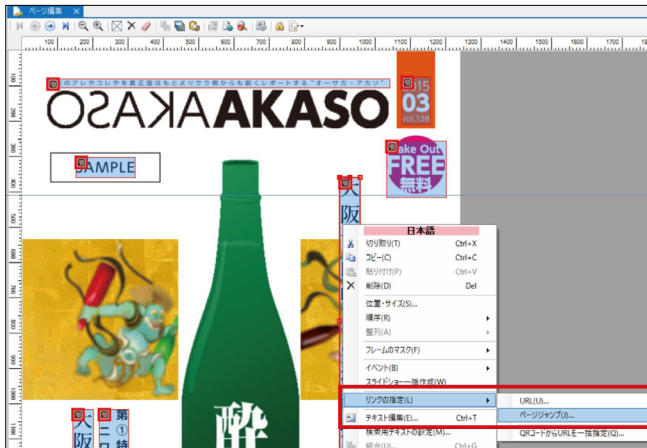
コマンドを編集したい場合は、該当のコマンドにカーソルを合わせて「Ctrl+E」でコマンドのダイアログが表示されます。また、コマンドを削除したい場合は、該当のコマンドにカーソルを合わせて「Ctrl+T」でコマンドのみが削除されます。なお、日本語に対して設定した文字属性は翻訳した多言語テキストには反映されません。

## リンクを指定する (ページジャンプ・URL リンク)

コンテンツ内のページ移動や、登録したURL へのハイパーリンクを指定することができます。

### ページジャンプ

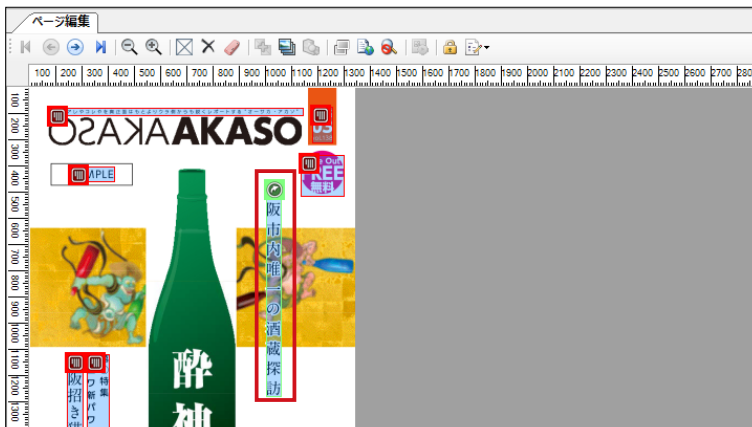
1. 該当のフレームを選択し、右クリックメニューから [リンクの指定] - [ページジャンプ] を選択します。



2. ジャンプさせたいページにチェックを入れ、[OK] をクリックします。



3. フレームが緑色の枠に変わり、ページジャンプのリンクが設定されます。

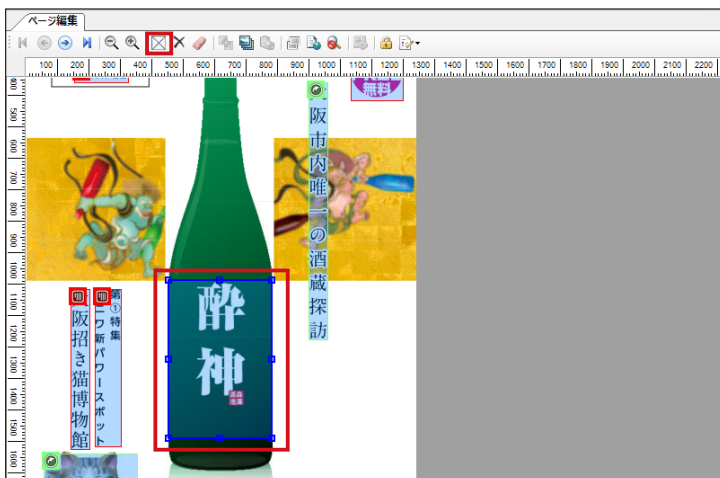


### ▶ POINT

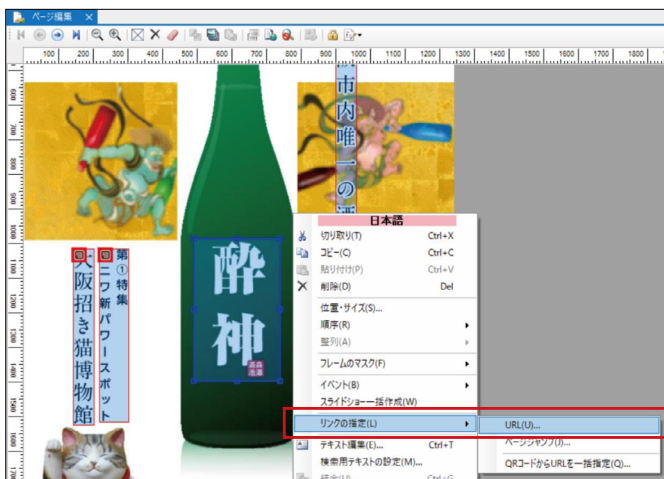
ページジャンプを設定したフレームはテキストポップアップが無効になります。

## URL リンクのフレームを作成する

1. [ページ編集] メニューから [フレームの新規作成] を選択しフレームを作成します。



2. 右クリックメニューから [リンクの指定] - [URL] を選択します。



3. [URL 指定] ダイアログが表示されますので [URL] 欄にリンクさせたいページのアドレスを入力し [OK] をクリックします。

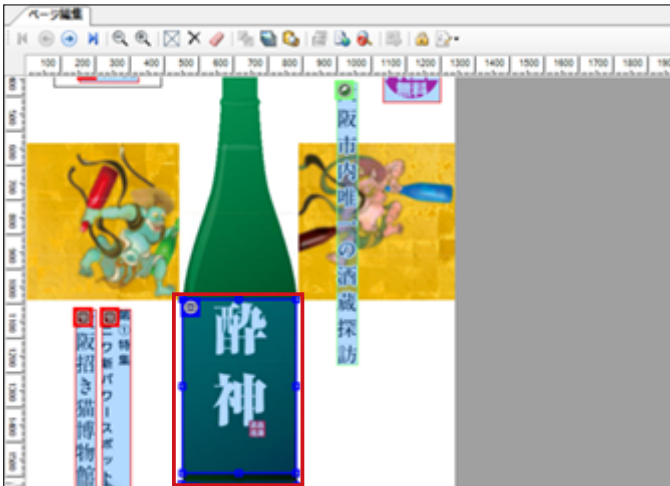


### ▶ POINT

[全言語共通] を ON にすると翻訳されたフレームにも同様のリンクが設定されます。  
[リンク先を外部アプリケーションで表示する] を ON にすると Web サイトを開く際に Safari などのブラウザで開きます。なお、Android 端末で閲覧する場合はチェックの有無にかかわらず外部アプリケーションで表示されます。



4. URL リンクが設定されたフレームは、左上にアイコンが表示されます。



**▶ POINT**

URL リンク機能の応用として、メールアドレス、電話番号に直接リンクが可能です。

- ・電話番号リンク  
先頭に「tel:」を付与
- ・メールアドレスリンク  
先頭に「mailto:」を付与

■ QR コードから URL を一括指定 ■

1. 新規フレームで QR コードを一つずつ囲むように作成し、右クリックメニューから [リンクの指定] - [QR コードから URL を一括指定] を選択します。



**▶ POINT**

Shift キーを押しながら複数のフレームを一緒に選択することで、それぞれのフレームに対して URL を一括指定することができます。

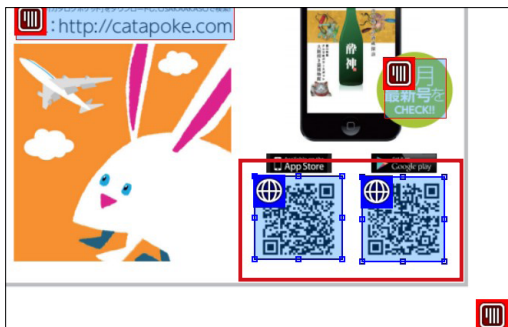
2. [確認] ダイアログが表示されますので [はい] をクリックし、[完了] ダイアログが表示されたら [OK] をクリックします。



**▶ POINT**

QR コードのサイズや内容によっては読み取りに失敗する場合があります。読み取りに失敗した時は、該当フレーム選択後に右クリックメニューから [リンクの指定] - [URL] をクリックして URL リンクの設定を行ってください。

3. URL リンクが設定されたフレームは、左上にアイコンが表示されます。



**▶ POINT**

QR コードに設定したリンク先の内容を確認するには、フレームをダブルクリックしてください。または、右クリックメニューから [リンクの指定] - [URL] をクリックしてください。

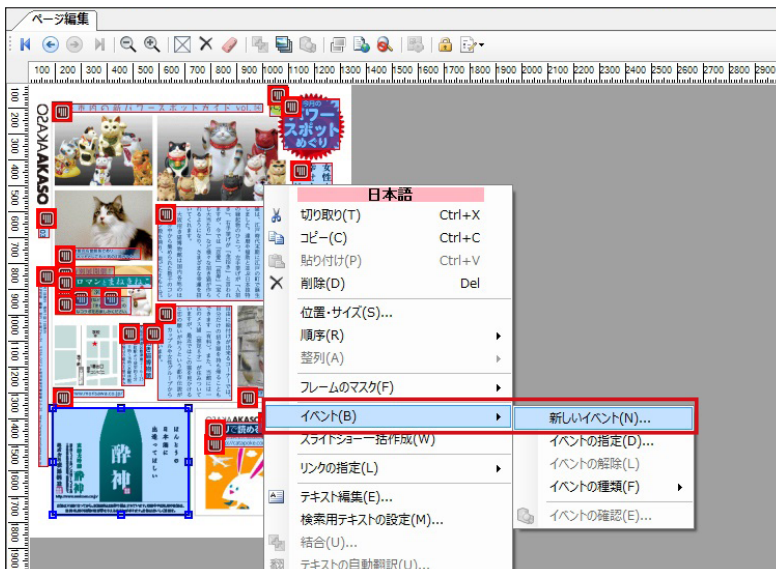
## スライドショーで画像を表示する

PDF データには含まれない、別途用意した画像をスライドショーとして配置することが可能です。

1. [ページ編集] メニューから [フレームの新規作成] を選択しフレームを作成します。



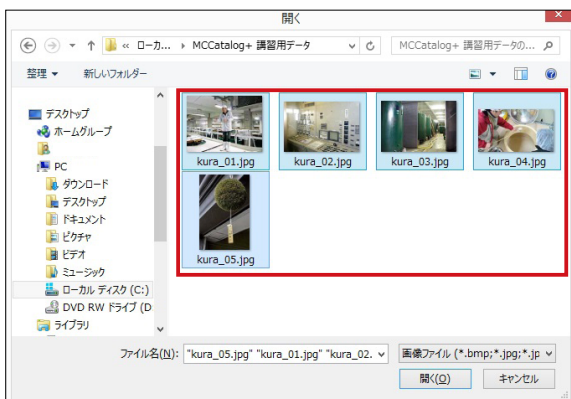
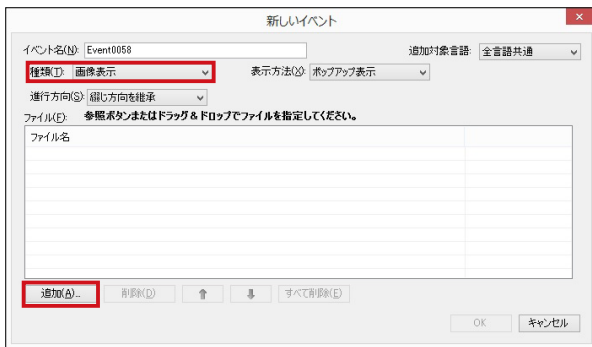
2. 右クリックメニューから [イベント] - [新しいイベント] を選択します。



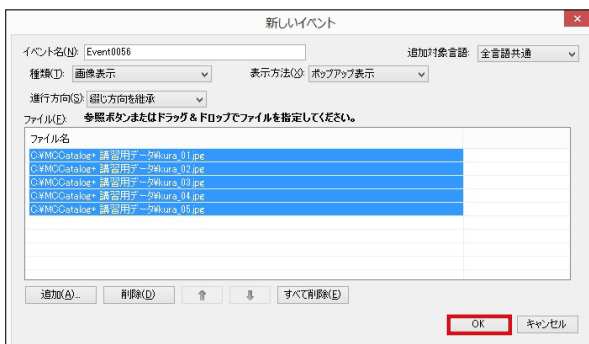
### ▶ POINT

フレームをタップした際に動作が発生させる事をイベントと言います。テキストポップアップもイベントの一種です。

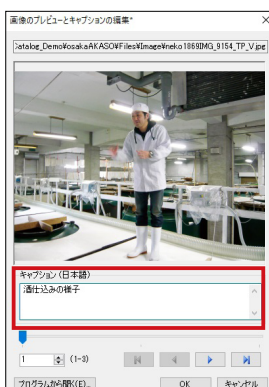
3. [種類] - [画像表示] を選択し、[追加] を選択すると、ダイアログが表示されるので該当の画像を選択して [開く] を選択します。



4. 表示順序を確認し、[OK] をクリックします。



5. スライドショーが作成され、フレームをダブルクリックするとプレビューで確認ができます。各画像にキャプションも設定できます。



### ▶ POINT

Shift キーを押しながら一度に複数の画像を選択することができます。  
※ CMS にてリッチコンテンツ編集を行う場合は、一枚ずつの選択になります。

### ▶ POINT

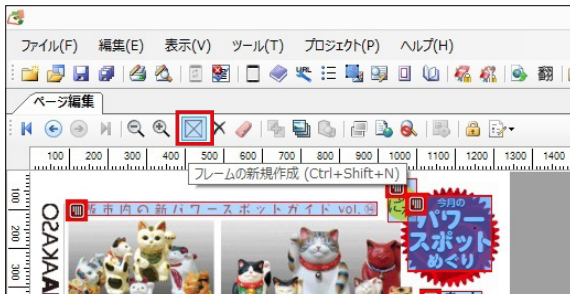
一度設定したスライドショーイベントは後から変更できません。表示させる画像を変更する場合は新たなイベントを作成する必要があります。

### ▶ POINT

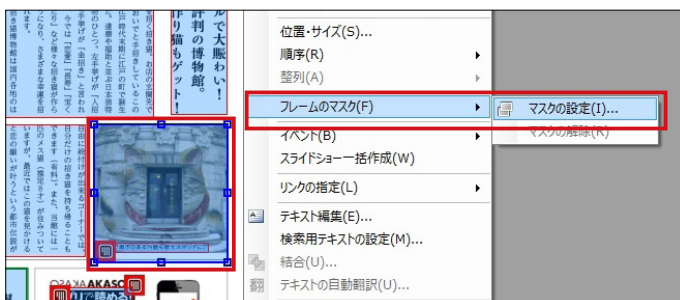
キャプションとして入力したテキストも自動翻訳・多言語化の対応が可能です。

## フレームのマスク設定

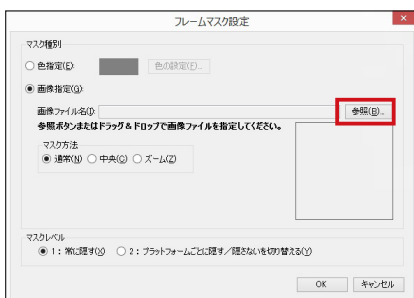
1. [ページ編集] メニューから [フレームの新規作成] を選択し、フレームを作成します。



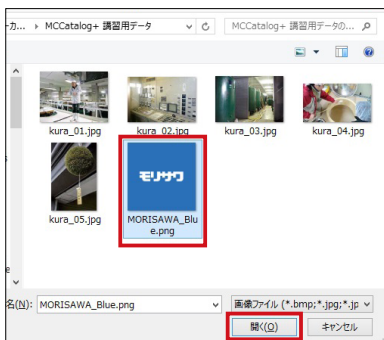
2. 作成したフレームを右クリックし、メニューから [フレームのマスク] - [マスクの設定] を選択します。



3. [フレームマスク設定] - [画像指定] - [参照] を選択します。



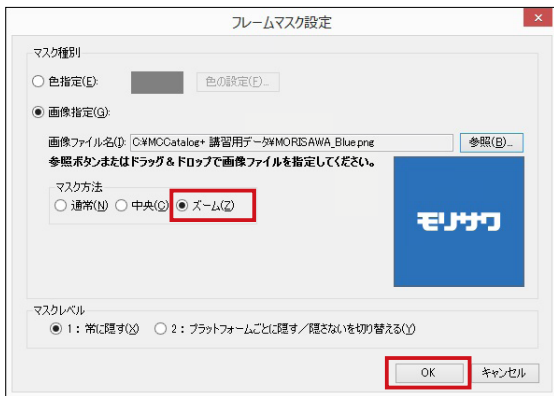
4. フレームマスク設定に適用したい画像を選択します。  
(本テキストでは「MORISAWA\_Blue.png」を使用します)



### POINT

紙媒体上は掲載して良かったがデジタルブックでの配信はNGとなる情報のみを隠して配信したい場合に使用する機能です。

5. 画像を選択し、[マスク方法] から [ズーム] を選択し、[OK] をクリックするとフレームのマスク設定が適用されます。



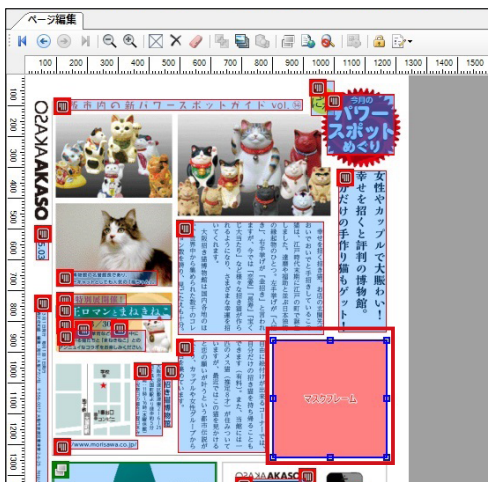
**▶ POINT**

[マスク方法] - [ズーム] を選択すると、画像の縦横比を保ったままフレームの大きさに合わせてフィットします。



■ MEMO ■

画像ではなく、単色でのマスク設定も可能です。単色は下記のようなマスク設定となります。



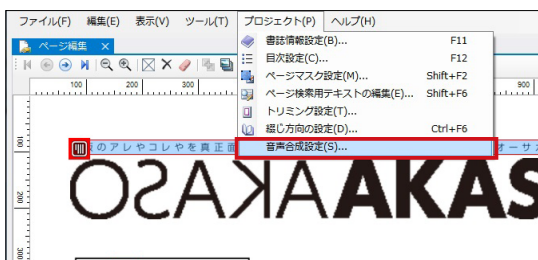
## 読み上げ辞書の設定

自動音声読み上げ時の読み方を辞書に登録します。

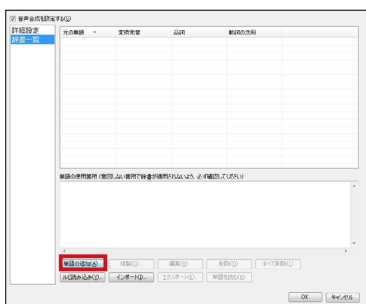
### ■ 注意 ■

読み上げ辞書の設定は日本語のみの対応です。また、登録内容はアプリ版のカタポケにのみ有効となるため、ブラウザ版ではブラウザの音声読み上げ設定が優先されます。

1. [プロジェクト] - [音声合成設定] をクリックします。

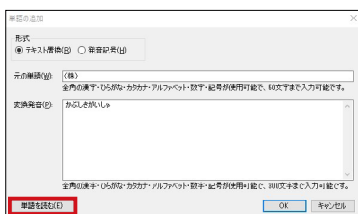


2. [辞書一覧] - [単語の追加] をクリックします。



3. 読み方を設定したい単語を [元の単語] に入力し、読み方を [変換発音] に入力します。

4. [単語を読む] で読み上げ方を確認し、[OK] をクリックします。



### ■ MEMO ■

設定した辞書は、そのコンテンツ内でのみ適用されます。辞書登録した内容を別のコンテンツで使用したい場合は [エクスポート] をクリックして読み上げ辞書データを書き出すことができます。

### ▶ POINT

任意の箇所のみ読み上げ方を設定する場合は、テキストエディタで該当の文字列を選択し、[読み上げルビ] コマンドで読み上げ方を指定することができます。

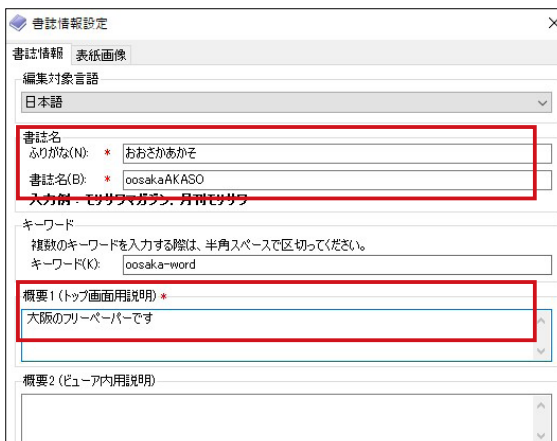
## 書誌情報の登録と自動翻訳の実行

本文テキストの編集作業が完了しましたら、コンテンツのタイトルや概要などの書誌情報を設定して自動翻訳を実行します。

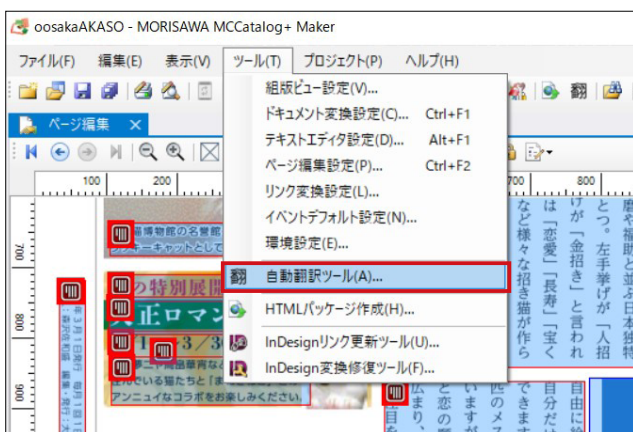
1. [プロジェクト] - [書誌情報設定] をクリックします。



2. [ふりがな]、[書誌名]、[概要 1] の必須項目にそれぞれ情報を入力します。(キーワード欄は任意での入力となります)



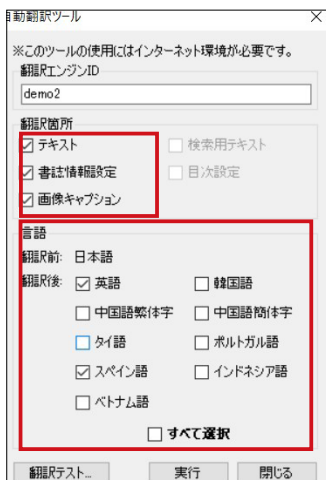
3. [ツール] - [自動翻訳ツール] をクリックします。



**POINT**

キーワードにユニークな文字列を入力し、その情報を公開しておくとかたポケの読者が検索しやすくなります。設定の詳細は後述の「URL スキームについて」をご参照ください。

4. [自動翻訳ツール] ダイアログが表示されますので、[翻訳箇所] - [テキスト]・[書誌情報設定] にチェックを入れ、[言語] - [翻訳後] の必要なチェックを入れ [実行] を選択します。



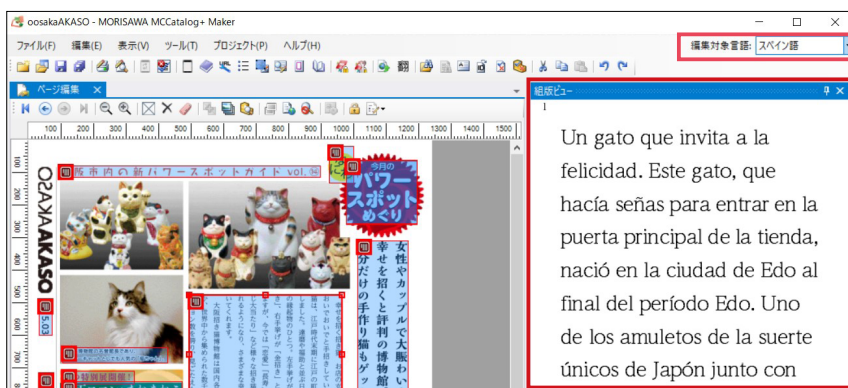
▶ POINT

[翻訳エンジン] ID には、ライセンス証明書に記載されている翻訳サービスのログイン ID を入力します。

5. 上書き保存の確認アラートが表示されますが、[はい] をクリックします。

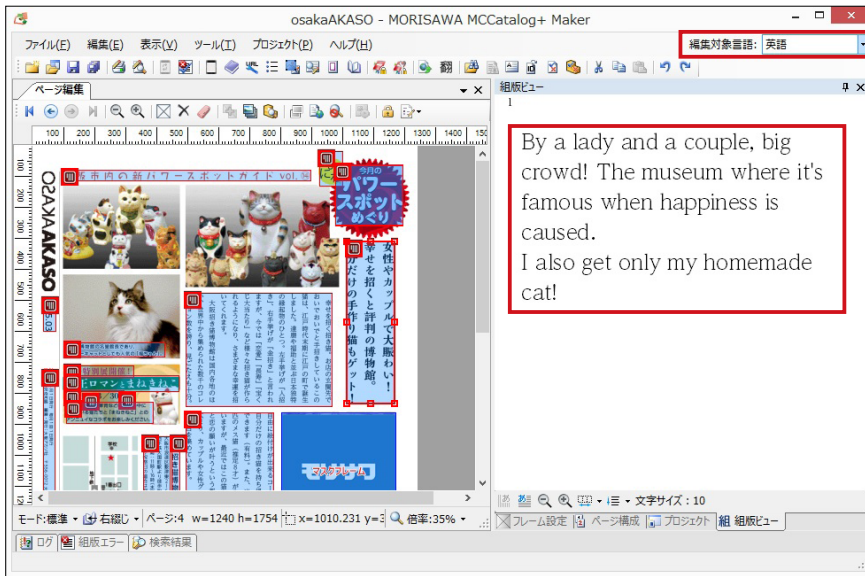


6. 翻訳ツールが実行され翻訳が開始されます。翻訳実行後、右上 [編集対象言語] から「スペイン語」を選択し、テキストフレームをダブルクリックすると、[組版ビュー] に翻訳後のテキストが表示されます。





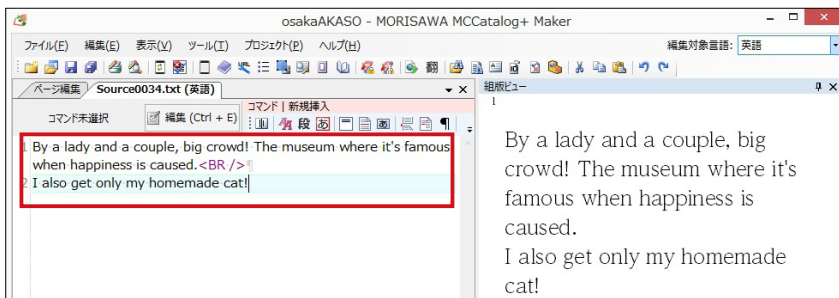
7. 編集対象言語を英語に切り換え、フレームをダブルクリックすると英語の翻訳結果が表示されます。



MEMO

テキストフレームをクリックし、右クリックメニューから [テキスト編集] を選択すると翻訳後のテキストを編集することができます。

**POINT**  
翻訳後のテキストを編集した後、再度自動翻訳をかけると編集した部分が上書き・削除されます。



MEMO

任意のテキストフレームを選択し、右クリックメニューから [テキストの自動翻訳] をクリックすると該当箇所のみ翻訳を実行できます。



## URL リンク変換

URL リンク変換とは、コンテンツ内のテキストから URL を抽出し、Web サイトなどへアクセスできるリンクに変換することができる機能です。

【リンク変換前】



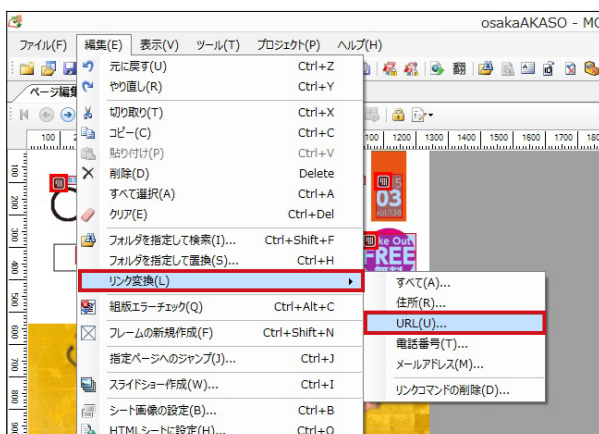
通常のプレーンテキストのため、URL テキストをタップしてもリンクジャンプしません。

【リンク変換後】

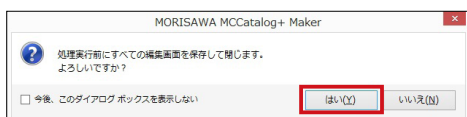


リンク変換を行うことによってハイパーリンクが有効になり、Web サイトなどへ誘導できます。

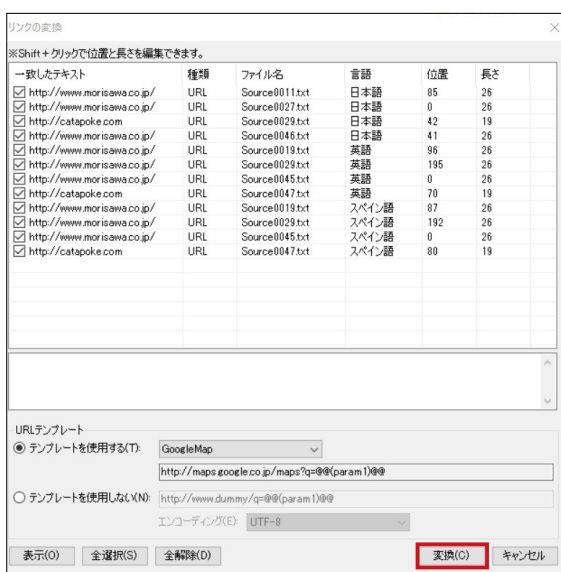
1. [編集] - [リンク変換] - [URL] をクリックします。



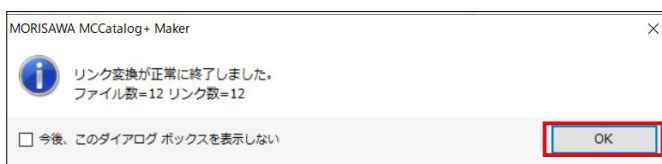
2. アラートが表示されますが [はい] を選択し続行します。



3. [リンクの変換] ダイアログが表示され、リンク変換対象の語句がリスト表示されますので [変換] をクリックします。



リンク変換が終了すると、[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。



**POINT**

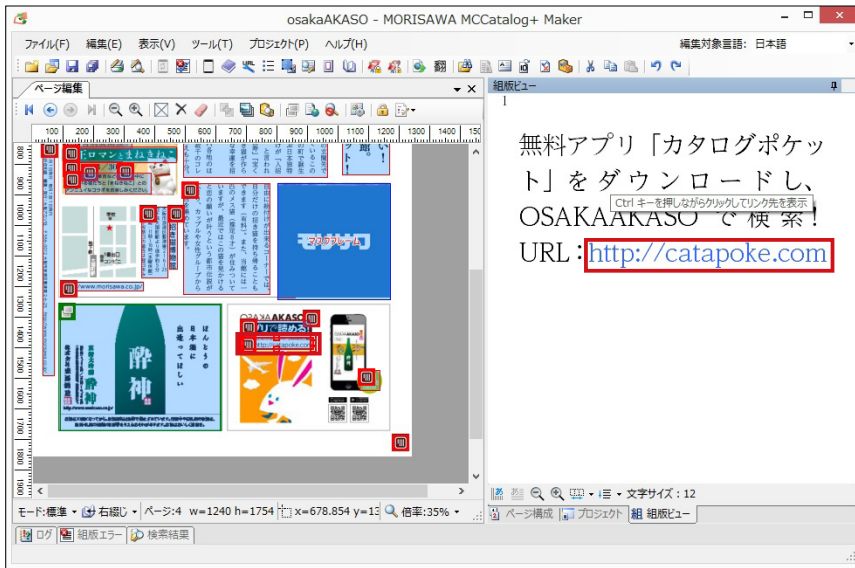
【一致したテキスト】で不要なものはチェックを外します。また言語ごとの設定になるため、同じフレーム内の複数言語に同一リンクがあれば、すべて対象にする必要があります。

**POINT**

リンク変換作業を行うと、ページ編集パネルが閉じます。ページ編集画面を再度表示する方法は、2通りあります。

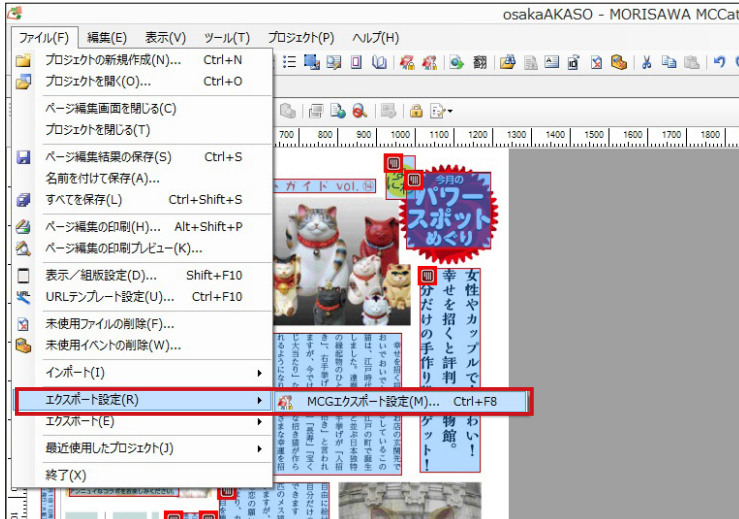
- ① [表示] - [ページ編集] を選択する方法。
- ② ページ構成画面にてページをダブルクリックする方法。

4. 該当部分のテキストフレームをクリックすると、変換した文字列が青色になり URL リンクが設定されます。

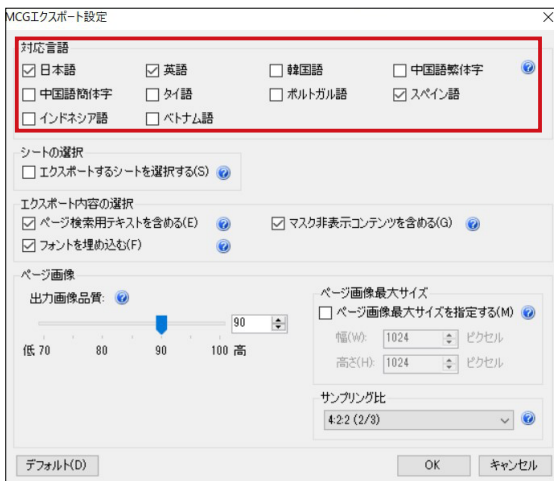


## ファイルのエキスポート

1. [ファイル] - [エキスポート設定] - [MCG エクスポート設定] をクリックします。



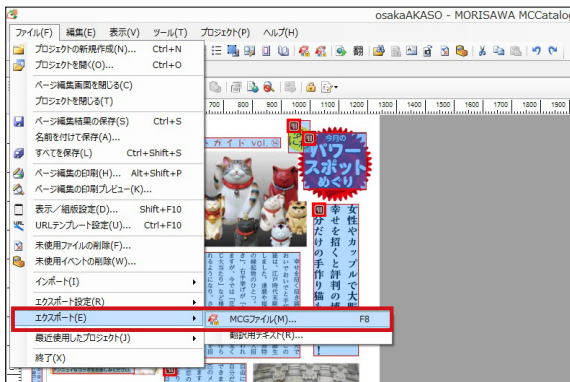
2. [対応言語] で必要な言語にチェックを入れます。



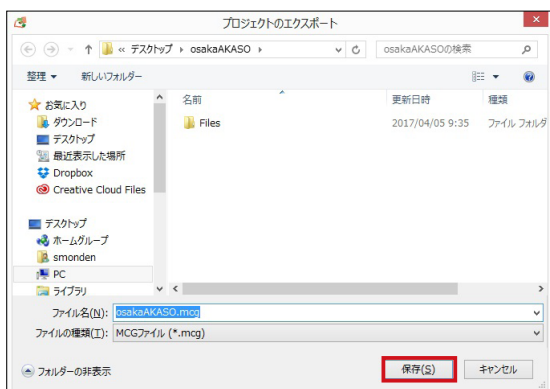
**POINT**

エキスポート設定の[対応言語]のチェックがオフになっている場合、Catalog Pocketでの閲覧時に言語切り替えアイコンが表示されず、翻訳したテキストを表示できませんのでご注意ください。

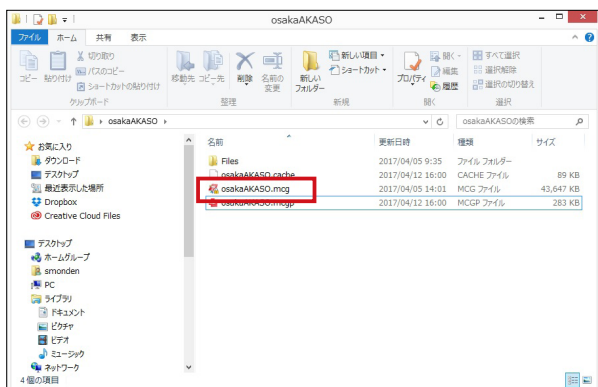
3. [ファイル] - [エキスポート] - [MCG ファイル] をクリックします。



4. [プロジェクトのエクスポート] ダイアログが表示され、任意の場所を設定し、[保存] をクリックします。



5. MCG ファイルの書き出しが完了しました。



MCCatalog+ Maker での操作は終了となります。  
作成した MCG ファイルのアップロードは次項よりご案内いたします

▶ POINT

書誌情報に入力漏れがある場合、アラートが表示されます。その際は書誌情報に必要項目を入力し直した上で再度エクスポートを行ってください。

▶ POINT

「.mcgp」ファイルはアップロードに用いるファイルです。コンテンツを再編集する際は「.mcgp」ファイルを開き、使用してください。

## ■ MCCatalog+ Maker アップロード編 目次

---

グループ登録	32
コンテンツの配信設定を行う	36
テスト公開～公開	38
シリーズ設定	40
TIPS	44
お問合せについて	50

## グループ登録

コンテンツ配信を行うには、コンテンツを管理するためのグループの登録が必須作業となります。

### ■ MEMO ■

グループには、すべてのカタポケアプリユーザが閲覧できるコンテンツを管理するための「公開グループ」と、特定のユーザのみ閲覧できるコンテンツを管理する「限定公開グループ」があります。

## 公開グループの作成

1. CMS へログインし [グループ一覧] を選択します。



2. グループ一覧画面が表示されたら [新規登録] ボタンをクリックします。



3. [公開グループ] ボタンをクリックします。



### ▶ POINT

CMS へのログインや操作については Google Chrome が推奨ブラウザとなっています。

### ▶ POINT

クライアント様ごとや部門ごと、定期的な刊物と単発のチラシごとなど、グループ作成することで、コンテンツを管理する上で便利になります。



4. グループ登録画面になりますので [グループ名] を入力して [確認画面へ] ボタンをクリックします。

MCMCatalog+ 株式会社モリサワ

TOP グループ一覧 基本情報 担当者設定 各種設定 ログ解析 Maker ヘルプ

TOP グループ一覧 グループ登録/編集

グループ名  100文字以内

固定ページ用画像  選択されていません ※JPEG/PNG

備考

5. 登録確認画面が表示されるので、内容を確認したうえで [設定を保存する] ボタンをクリックします。

MCMCatalog+ 株式会社モリサワ

TOP グループ一覧 基本情報 担当者設定 各種設定 ログ解析 Maker ヘルプ

TOP グループ一覧 グループ登録/編集

グループ名 森澤商事

固定ページ用画像

備考

6. 登録が完了したら、グループ一覧に表示されます。続けてコンテンツデータを登録する場合は [コンテンツ] をクリックします。

MCMCatalog+ 株式会社モリサワ

TOP グループ一覧 基本情報 担当者設定 各種設定 ログ解析 Maker ヘルプ

TOP グループ一覧

グループ名

<<前頁 | 1 | [2]

グループ名 [▼▲]	サーバ使用量 [▼▲]	コンテンツ	統計
デモ用	1,715 MB	<input type="button" value="コンテンツ"/>	<input type="button" value="統計"/>

## ▶ POINT

一度作成したグループの公開範囲は変更できませんので、ご注意ください。

## 限定公開グループの作成

1. グループ一覧画面にて [新規登録] - [限定公開グループ] ボタンをクリックします。



2. グループ登録画面になりますので [グループ名] [パスワード] を入力して [確認画面へ] ボタンをクリックします。

3. 登録確認画面が表示されるので、内容を確認したうえで [設定を保存する] ボタンをクリックします。

### ▶ POINT

[限定公開グループ] より公開を行う場合、読者は専用のIDとPWを入力しないとコンテンツの閲覧を行うことができません。

### ▶ POINT

限定公開の [グループ名] は、カタボケ上に表示されますのでご注意ください。  
また、自動翻訳を実行することで多言語での表示に対応できません。

4. 登録が完了したら、グループ一覧に表示されます。続けてコンテンツデータを登録する場合は [コンテンツ] をクリックします。



▶ POINT

限定公開では、以下の項目は設定できません。

- ・シリーズ (連載) 名
- ・コンテンツの位置 (都道府県)
- ・コンテンツ属性 (カテゴリ、性別、年齢層、職業)

■ 限定公開コンテンツの閲覧方法 ■

読者が限定公開コンテンツを閲覧する場合は、ID と PW を入力してログインする必要があります。



## コンテンツの配信設定を行う

配信に必要な設定を行い、MCG ファイルをアップロードをします。

1. [コンテンツ一覧] - [新規登録] をクリックします



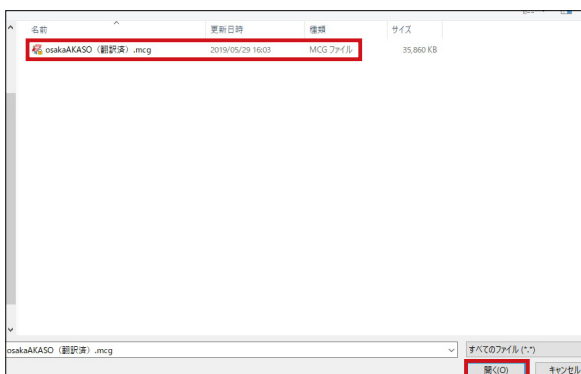
2. [入力データ] - [入力データの種類の種類] から [MCG] を選択すると、[入力データファイル] の表示が切り替わります。



[入力データファイル] - [ファイル選択] をクリックすると、ダイアログが表示されます。



該当の MCG ファイルを選択し、[開く] を選択します。



3. コンテンツがアップロードされるとサムネイル画像が表示され [対応言語]、[音声合成]、[タイトル、概要] などの項目に MCCatalog+ Maker で設定した情報が反映されます。

4. [公開期間] の空白部分を選択すると、カレンダーが表示されますので、公開期間の設定を行います。

5. [コンテンツ属性] - [カテゴリ] から該当するカテゴリにチェックを入れます。

コンテンツを公開するにあたっての設定作業は以上となります。

### ▶ POINT

タイトル、概要、キーワードなどは MCCatalog+ Maker でも設定できますが、アップロード時に CMS 上で再設定することも可能です。

### ▶ POINT

・公開期間  
コンテンツが公開され、ダウンロード・閲覧することができる期間。  
・閲覧有効期限  
コンテンツ公開終了後もダウンロード済みのユーザがコンテンツを閲覧することができる期間。  
なお、テスト公開時にも公開期間の設定は必要です。

### ▶ POINT

設定された公開開始日時が [公開する] ボタンのクリック時点より前だった場合、コンテンツは即時公開されます。  
[公開する] ボタンのクリックより先の日時を指定した場合、設定した日時に予約公開されます。

## テスト公開～公開

テスト公開とは、一般の読者に対して公開するのではなく、配信前にカタポケアプリで校正・確認するための機能になります。

MCCatalog+ 契約者様だけでなく、クライアント様にも配信前に確認していただくことが可能となります。

1. CMS にログインし、該当コンテンツの登録 / 編集画面を表示し、[コンテンツ ID] に記載されている [テスト公開用検索文字列] を確認します。

▼コンテンツID/シリーズ設定/対応言語

コンテンツID	5edd7 URLスキーム [ https://www.catapoke.com/viewer/?open=5edd7 ] テスト公開用検索文字列 [ @5edd7 ]
---------	--

2. [テスト公開用検索文字列] を確認後、[テスト公開] を選択します。

▼検索条件

性別	<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
年齢層	<input checked="" type="checkbox"/> すべて <input type="checkbox"/> 4~12歳 <input type="checkbox"/> 13~19歳 <input type="checkbox"/> 20~34歳 <input type="checkbox"/> 35~49歳 <input type="checkbox"/> 50歳以上
職業	<input checked="" type="checkbox"/> すべて <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> その他
キーワード	言語設定 [日本語] <input type="text"/> 入力データの内容に照す
その他の条件	<input type="checkbox"/> 旅行者向け <input type="checkbox"/> クーポン・割引対象

一覧に戻る 設定を保存して中斷する 公開する 削除 **テスト公開**

3. [公開状況] が [テスト公開] になっていることを確認します。

公開状況	サムネイル	ID [▼▲]	コンテンツ名 [▼▲]	公開期間(開始) [▼▲] 公開期間(終了) [▼▲]
テスト公開		5edd7	osakaAKASO_ MCCatalog demo	19年11月26日 ~ 19年12月31日

4. カタポケアプリを起動して [検索] ボタンをタップします。



5. [検索条件] - [キーワード] を選択して、[@@+ コンテンツ ID (5桁)] を入力し、検索を行うと該当のコンテンツが表示されますので、内容を確認することができます。



6. テスト公開でアップロードしたコンテンツを確認ができましたら、[公開する] ボタンをクリックするとコンテンツが公開されます。



## シリーズ設定

シリーズ設定されたコンテンツを読者がマイコンテンツに追加すると、最新号が配信された場合にプッシュ通知され、簡単にコンテンツを閲覧することが可能となります。定期刊行物を配信する場合は、シリーズ設定することをおすすめします。



モリサワニュース No.105 を  
マイコンテンツに追加。



最新号 (No.106) が公開  
されると通知が届きます。

### ■ MEMO ■

シリーズ設定が不要な場合は、本項を省略することも可能です。

### ■ MEMO ■

シリーズ名は、「コンテンツ登録 / 編集画面」もしくは CMS 管理画面から  
[各種設定] - [シリーズ設定] から設定することが可能です。

### ■ 注 意 ■

限定公開コンテンツはシリーズ設定ができません。コンテンツが属する限定  
公開グループに一回以上ログインした端末にプッシュ通知を配信します。

### ▶ POINT

限定公開グループのパスワード  
が変更された場合は、プッシュ  
通知を配信する端末がリセット  
されます。



## コンテンツ登録 / 編集画面でのシリーズ設定手順

1. [シリーズ (連載) 名] - [新規追加] を選択します。



2. [シリーズ (連載) 名] を入力して [確認画面へ] を選択します。



3. [設定を保存する] を選択します。



4. シリーズ名に作成した設定が反映されます。



「シリーズ設定画面」でのシリーズ設定手順

1. [各種設定] を選択します。



2. [シリーズ設定] をクリックします。



3. [新規登録] をクリックします。



4. [シリーズ (連載) 名] を入力して [確認画面へ] をクリックします。



5. [設定を保存する] を選択するとシリーズ設定の登録が完了しますので、コンテンツ登録画面からシリーズ設定を行うことができます。

▼コンテンツID/シリーズ設定/対応言語	
コンテンツID	f343f URLスキーム [ https://www.catapoke.com/viewer/?open=f343f ] テスト公開用検索文字列 [ @@f343f ]
シリーズ (連載) 名	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">モリサワニュース</div> <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">新規追加</span> <small>定期配信コンテンツの場合はシリーズ設定することをおすすめします。 同一シリーズのコンテンツが「マイコンテンツ」に登録されている場合、新刊配信時および新刊配信のプッシュ通知は、コンテンツの公開期間の開始日に設定した時間に行われます コンテンツを公開した時点で、公開期間の開始日に設定した日時を過ぎている場合、新刊</small>
対応言語	<input checked="" type="checkbox"/> すべて選択 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input checked="" type="checkbox"/> 韓国語 <input checked="" type="checkbox"/> 中国語繁体字 <input checked="" type="checkbox"/> 中国語簡体字 <input checked="" type="checkbox"/> タイ語

6. プッシュ通知で表示される文言は [プッシュ通知] - [追加メッセージ] より、メッセージを追加することができます。

▼プッシュ通知	
プッシュ通知設定 (新刊配信)	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"><small>プッシュ通知にメッセージを追加することができます。(日本語のみ) プッシュ通知で送信できるメッセージは、追加メッセージを含め207バイトまで入力できます。</small> 追加メッセージ <input type="text"/></div>
プレビュー	「oosakaAKASO」が配信されました。

## TIPS

### URL スキームについて

URL スキームとは、アプリに対するさまざまな動作を命令できる URL です。URL スキームを指定することで、任意のコンテンツを開いたり、特定のページを開いたりといった動作をさせることができるようになります。

1. コンテンツを開く

`https://www.catapoke.com/viewer/?open=[コンテンツ ID]`

2. ページ指定でコンテンツを開く

`https://www.catapoke.com/viewer/?open=[コンテンツ ID]&page=[ページ番号]`

3. 言語を指定して、コンテンツを開く

`https://www.catapoke.com/viewer/?open=[コンテンツ ID]&lang=[言語コード]`

言語コード: ja (日本語)、en (英語)、ko (韓国語)、zh-Hant (中国繁体語)、zh-Hans (中国簡体語)、th (タイ語)、pt-BR (ポルトガル語)、es (スペイン語)、id (インドネシア語)、vi (ベトナム語)

4. テキストポップアップのフレームに対する挙動を指定

`https://www.catapoke.com/viewer/?open=[コンテンツ ID]&txt_behavior=[テキストイベントコード]`

テキストイベントコード: popup (テキスト表示)、tts (音声合成再生)

5. 検索ワードを指定して検索画面を表示する

`https://www.catapoke.com/search/?keyword=[検索文字列]`

※検索文字列に日本語をそのまま指定すると正常に動作しない場合があります。

日本語部分を URL エンコードにすることをおすすめします。(URL エンコードの文字コードは「UTF-8」としてください)

例: モリサワ → `%E3%83%A2%E3%83%AA%E3%82%B5%E3%83%AF`

### ■ MEMO ■

配信するコンテンツそれぞれに独自のキーワードを設定しておき、設定したキーワードを URL スキームで検索ワードにすることで、キーワードが設定されたコンテンツが一覧で表示できる URL を作成できます。

6. 対応言語を指定して検索画面を表示する

https://www.catapoke.com/search/?lang=[言語コード]

7. コンテンツ ID を指定して、そのコンテンツのシリーズ最新刊を開く

https://www.catapoke.com/viewer/?series=[コンテンツ ID]

※コンテンツ ID を指定します。

指定したコンテンツの「シリーズ（連載）名」の最新刊になります。

指定したコンテンツ ID のコンテンツは削除しないでください。

8. シリーズ ID を指定して、そのシリーズのコンテンツ一覧を開く

https://www.catapoke.com/series/?id=[シリーズ ID]

※シリーズ ID については、[各種設定] - [シリーズ設定] より確認してください。

また、上記の URL スキームには、言語指定やページ指定などと合わせての利用はできません。（上記の書式でのみ利用可能です）

翻訳辞書登録について

自動翻訳機能は言語ごとに翻訳エンジンが異なりますが、各言語ともユーザー辞書登録ができます。翻訳辞書登録後に自動翻訳を実行することで、辞書登録内容が翻訳結果に反映することができます。

1. CMS にログインして [各種設定] - [翻訳辞書設定] を選択します。



2. 翻訳エンジンは言語ごとに異なります。辞書登録したい言語を含む翻訳エンジンの [設定] をクリックすることで、別ブラウザにて辞書登録画面に移り変わります。



POINT

翻訳辞書登録の手順書は、CMS にログインし [ヘルプ] - [各種設定] - [翻訳辞書設定] よりご覧いただけます。

POINT

高電社翻訳ユーザー辞書登録を行う際に必要な ID と PW は、ライセンス証書に記載しています。なお、高電社翻訳ユーザー辞書登録時に、ログアウトせずにブラウザを閉じるとログイン状態が継続されるのでご注意ください。

## 高電社翻訳ユーザ辞書登録画面例



- ※ユーザー辞書の登録はコンテンツごとではなく、ご契約単位の設定になります。
- ※文脈によっては翻訳結果が異なる場合もございます。高電社翻訳の場合は【訳語・画像置換登録】や、【置換辞書登録】-【文書辞書】もご活用ください。

## POINT

翻訳後の文章を修正する方法は、2通りあります

- ①任意の対象言語を選択し、テキストフレームごとに直接編集する方法。
- ②Makerにて【ファイル】-【エクスポート】-【人力翻訳用データ】を選択します。テキストデータが作成されるので、修正後に【ファイル】-【インポート】-【人力翻訳用データ】として取り込む方法。

## ログ解析について

公開及びテスト公開したコンテンツの閲覧状況を確認することができます。CSV ファイルや Excel ファイルへの出力も可能ですので、他のアプリケーションを利用した解析も可能です。

1. CMS にログインして【ログ解析】を選択し、任意グループの【コンテンツ】をクリックします。



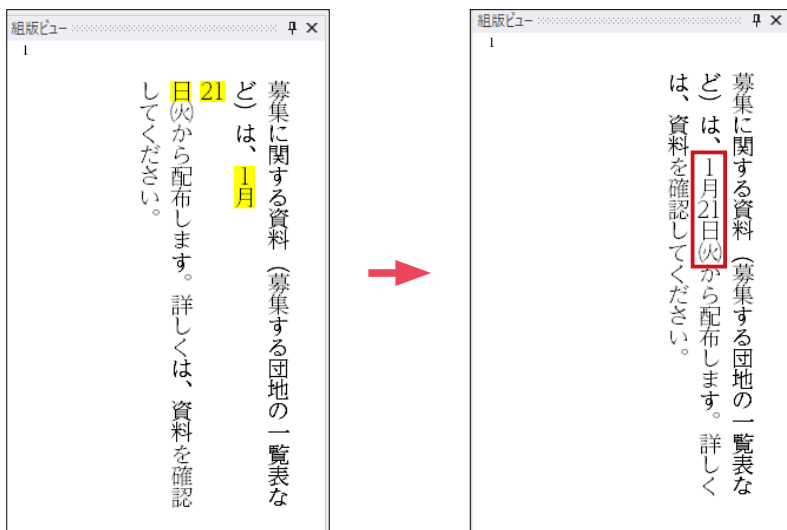
2. 任意コンテンツの【ログ解析】を選択します。



- ※ログ解析の詳細はヘルプに記載がございます。CMS にログインして【ヘルプ】-【ログ解析】よりご確認ください。

縦組み中の不要な改行を一括削除する正規表現について

PDF データをインポートした際、「縦組みテキスト+連数字」の部分について、連数字の前後に不要な改行が入る場合があります。この不要な改行を検索置換の処理と正規表現という処理を組み合わせることで、一括で削除することができる手順をご案内いたします。

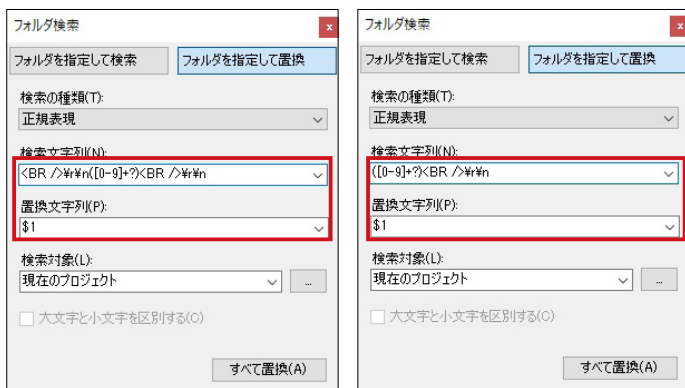


**POINT**

不要な改行が入っている箇所は Acrobat の [PDF を編集] にて別フレームになっていることが確認できます。  
 ※ oosakaAKASO の PDF (3 ページ目) 真ん中の段落。

【手順】

1. 必要に応じて予めフレームの結合を行う
2. [編集] - [フォルダを指定して置換] ダイアログを起動する
3. [検索の種類] - [正規表現] を選択し下記のようにテキストをそれぞれ入力する
  - 正規表現テキスト (1)
    - 【検索文字列】 <BR />\r\n([0-9]+?)<BR />\r\n
    - 【置換文字列】 \$1
  - 正規表現テキスト (2) 上記 (1) で置換しなかった場合に使用
    - 【検索文字列】 ([0-9]+?)<BR />\r\n
    - 【置換文字列】 \$1



4. [すべて置換] を実行し、終わり次第、該当箇所を確認する

## 担当者アカウントの管理について

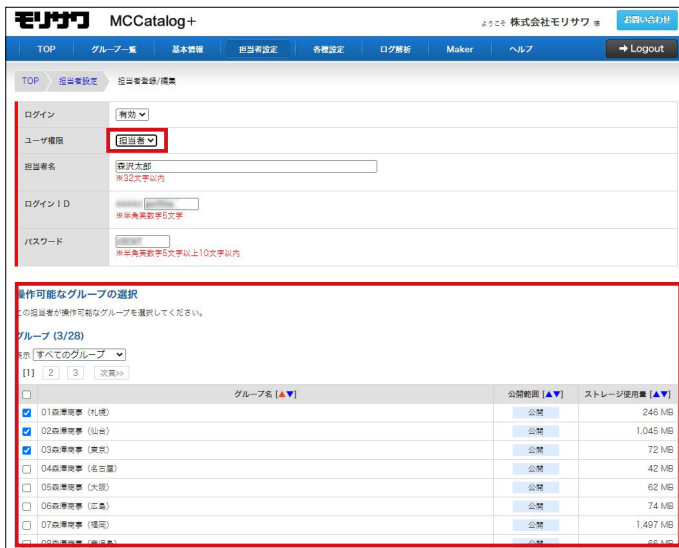
CMS にログインするアカウント次第で、表示される（操作可能な）グループを制限することができます。

- ・ 管理者権限のアカウント……全てのグループを表示します。
- ・ 担当者権限のアカウント……アカウントごとに表示されるグループを制限することができます。

1. CMS に管理者権限のアカウントでログインし [担当者設定] を選択して [新規登録] をクリックします。



2. ユーザー権限を [担当者] にすると、操作可能なグループを設定できる項目が表示されます。特定のグループのみ表示させたい場合は、チェックを付けてください。



### POINT

担当者設定画面では、担当者の削除も可能です。全担当者を削除してしまうとCMS にログインすることができなくなるためご注意ください。



## 参考動画・サイトの URL 一覧

### ▼操作動画

コンテンツの作成から配信までの基本的な操作手順や TIPS について、確認できる動画です。

- ・ MCCatalog+ Maker 編

<https://youtu.be/z8qtu1eQuuE>

- ・ MCCatalog+ CMS 編

<https://youtu.be/sx2xidwYJOI>

- ・ MCCatalog+ の TIPS

[https://www.youtube.com/playlist?list=PLof6CI6w3TkdvJbQnyy\\_NbYCatKnPijkX](https://www.youtube.com/playlist?list=PLof6CI6w3TkdvJbQnyy_NbYCatKnPijkX)

### ▼スタートアップ資料

カタポケへの配信をお知らせするときや、報道資料を作成するときに使用できる素材資料集です。

- ・ 広報誌のカタポケ配信に伴う効果向上のための素材資料集

<https://go.morisawa.co.jp/l/896081/2021-05-17/q7bl>

※上記資料が LG-WAN 回線やセキュリティなどの問題で正常にダウンロードできない場合は、別途ご提供いたしますのでご連絡ください。

### ▼PC 変更の手続き

MCCatalog+ Maker は PC3 台までインストール可能ですが、PC 入れ替えなどで MCCatalog+ Maker を別の PC で使用したい場合は申請が必要です。PC 変更の手順をご確認のうえ、申請してください。

- ・ ライセンス更新、PC 変更の手続きについて

<https://www.morisawa.co.jp/support/faq/2117>

## ■ お問い合わせについて

お問い合わせはメール対応のみとなります。サポート時間や営業日については弊社 HP をご参照ください。

### ▼お問い合わせ先

mccatalog-support@morisawa.co.jp

### ▼お問い合わせの前に

基本的な機能の説明やよくあるお問い合わせはヘルプページに記載しています。お問い合わせいただく前にご覧ください。

- ・ MCCatalog+ CMS ヘルプ

<https://mccatalogplus.com/help/>

- ・ MCCatalog+ Maker ヘルプ

<https://mccatalogplus.com/help/maker/?l=/help/contents/maker/maker.html>

### ▼お問い合わせの際は

エラーやトラブルでお問い合わせの際は、以下の項目について分かる範囲でお知らせいただくと、状況が把握しやすくなり、サポートがスムーズに進みます。また、

「MA-」から始まる 8 桁の数字もあわせてご連絡ください

- ・ どんな現象か（エラーメッセージ内容や画面キャプチャなど）
- ・ どんな操作をした時に発生するか
- ・ いつから、どの程度の頻度で発生するか
- ・ 発生する環境（OS やソフトのバージョンなど）
- ・ 別のデータでも同じ現象が起きるか



